三小だより

新潟市立新津第三小学校

NO，1

令和５年４月20日（木）

「一番大切なこと」

校長

今年度も，あたたかな日差しの中で木々が芽吹き、新津第三小学校が，新１年生106名を迎え，全校児童730名で令和５年度をスタートしました。

子どもたちの教育に際して，一番大切なことは何かなと考えてみました。確かな基礎学力はもちろん大切です。たくましい身体を育むことも大切です。私の小学校の頃は，「人に頼らず，がんばる子ども」というのが学校の目標に掲げられていました。その時代では，自分で自立することが強く求められていたのでしょう。

やはり，その時代に応じて「一番大切なこと」は変遷していくものでしょう。そうするとこれからの子どもたちにとって「一番大切なこと」は何か考えなければいけません。国際化社会で活躍するために英語教育，ＩＣＴ時代に必要なスキル，豊かな人生を生きるための芸術的な素養など，考えを巡らせれば巡らせるほどたくさんありすぎて迷ってしまいます。そんな中で，私が考える「一番大切なこと」は，やっぱり「人とつながる力」に行き着いてしまいます。

時代とともに，これまで私たちがやっていたことがどんどん他のシステムに取って代わっていく中で，最後まで私たち自身に任されることは「思いを受け止め，思いを伝える」ことになるのかなと思います。そのためには「人とつながる力」が必要になります。それは，単にコミュニケーションスキルが高いと言うことだけではなく，優しく相手の話をじっくりと聞く力や自分でできないことを上手に他の人に頼ることができる力であるとも感じています。

先に行われた学校運営会議において，今年度の教育ビジョンが検討されました。委員の皆様よりこれまで育む力として示してあった「協働する力」からこれからの子どもたちにとって「連携する力」にしてはどうかとの提言がなされました。参加した学校職員も共感し，今年度の教育ビジョンに「連携する力」を育む力として位置付けました。保護者や地域の皆様にも，この教育ビジョンと子どもたちの姿を思い描きながら，子どもたちの活動の様子を見ていただき，「よくがんばっているね！」「こんなことができるようになったんだ！」と，その成長を価値付けていただけるとたいへん嬉しく思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。